

施設園芸等燃料価格高騰対策

【令和5事業年度版】

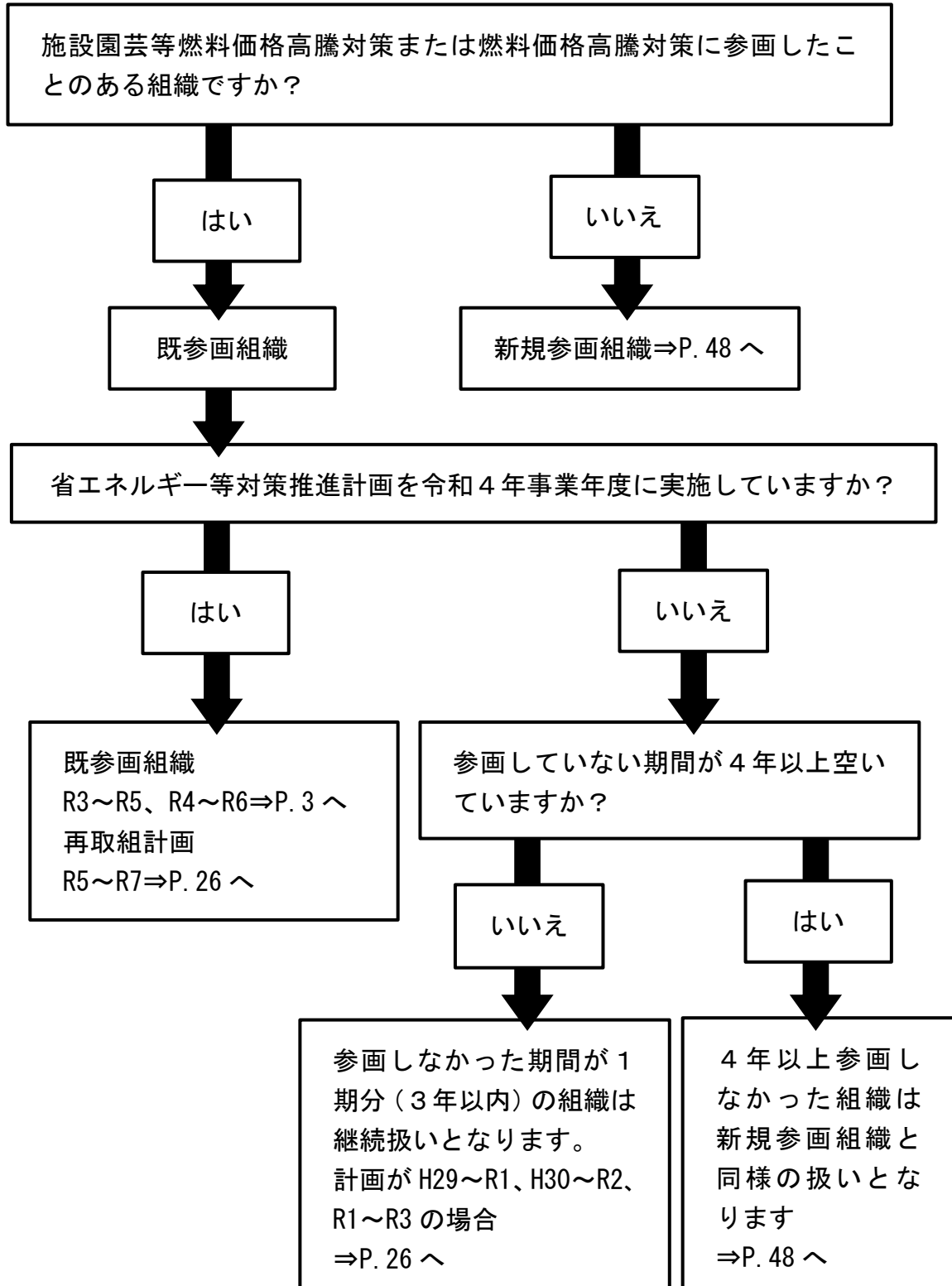
実施計画等作成マニュアル

青森県農業再生協議会

目次

目次	P. 1
作成マニュアルフローチャート	P. 2
第1 既参画組織 (計画期間が R3～R5、R4～R6)	P. 3
第2 既参画組織 (再取組計画が R5～R7)	P. 26
第3 新規参画組織	P. 48

作成マニュアル フローチャート



第 1 既参画組織

(計画期間が R3～R5、R4～R6)

1 提出資料

(1) 支援対象者ごとに作成するもの

- ア 別紙様式第 1 号 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進計画の承認申請について
- イ 別紙様式第 1 号別紙 1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書
添付資料 組織の会則(規約)、役員名簿(どちらも農協は省略可)
- ウ 別紙様式第 1 号別紙 2 省エネルギー等対策推進計画
添付資料 現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる書類
- エ 別紙様式第 5 号 施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書
(令和 4 事業年度末に積立契約更新を行い、かつ事業参加者の追加がない場合は不要)
- オ 別紙様式第 7 号 施設園芸用燃料購入数量設定申込書

(2) 農家ごとに作成するもの

- ア 別紙様式第 2 号 省エネルギー対策取組計画(令和 5 事業年度)
添付資料 現在の燃料使用量の算定根拠資料
目標の燃料使用量の算定根拠資料
施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート(改訂 3 版)

別紙様式第1号（第6条第1項関係）

5 ページに該当する変更がない場合はこちらの様式に記入してください。

年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住 所
名称及び代表者の氏名

押印不要

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進
計画の承認申請について

青森県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月16日付け青森県農業再生協議会作成）第6条第1項の規定に基づき、下記により事業実施計画及び省エネルギー推進計画を作成したので、関係書類を添えて承認を申請する。

記

- 1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書：別紙1
- 2 省エネルギー等対策推進計画：別紙2

別紙様式第1号（第6条第1項関係）

青森県農業再生協議会会長 殿

以下の条件に該当する場合はこちらの様式に記入してください。

①別紙1 実施計画書の燃料購入予定数量あるいは燃料補填金積立予定額が前年から3割を超える増減がある場合。

②別紙2 第1の3. 燃料使用量削減等の目標の燃料使用量の変更がある場合。

住所
名称及び代表者の氏名

押印不要

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進計画の変更承認申請について

青森県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月16日付け青森県農業再生協議会作成）第6条第1項の規定に基づき、下記により事業実施計画及び省エネルギー推進計画を変更したので、関係書類を添えて承認を申請する。

記

- 1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書：別紙1
- 2 省エネルギー等対策推進計画：別紙2

(別紙1)

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書

策定主体名： 支援対象者名を記入	実施期間	5事業年度	5年7月～6年6月
---------------------	------	-------	-----------

※事業年度は7月～翌6月。

施設園芸セーフティネット構築事業実施計画

対象期間	○月～翌○月	5事業年度	5年7月～6年6月
------	--------	-------	-----------

(セーフティネット申込者の内訳)

対象期間は10月～翌6月の間から月を単位として1か月、又は連続する2か月以上の期間とすることも可能です。						
番号	氏名	燃料別				
1	○○○	A重油	5,000ℓ	102,000	102,000	継続
		灯油	ℓ			
		LPガス	kg			
		LNG	m ³			
2	○○○	A重油	○○○ℓ	○○,○○○	○○,○○○	新規
		灯油	○○○ℓ			
		LPガス	kg			
		LNG	m ³			
合計		A重油	○,○○○ℓ	1,596,300	1,596,300	
		灯油	○,○○○ℓ			
		LPガス	kg			
		LNG	m ³			

(注1) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出(農家積立分)。

燃料補填積立予定額と補助金所要見込額は同額(別紙様式第7号の3. 燃料補填積立の金額の計から転記)となります。

(注4) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

添付資料

- 1 組織の会則(規約)、役員名簿(農業協同組合(連合会)の場合は添付を省略できる)
- 2 事業参加者の一覧(下の様式を参考に作成)

上記の補助金所要見込額と同額となります。

<事業参加者の一覧>

番号	氏名	住所	セーフティネット事業申請(○×)	補助金所要見込額(円)	備考
1	○○○	○○町○○…	○	102,000	
2	○○○	○○町○○…	○	○○,○○○	

※番号は事業参加者の通し番号とし、(セーフティネット申込者の内訳)の番号と連動させること。

該当する場合は添付資料も合わせて提出してください。

計画に変更がある場合は(変更)と追記してください。

省エネルギー等対策推進計画(変更)

(品目名:)

全ての品目を記載してください。

計画期間	3年間 (R3事業年度～R5事業年度) (R4事業年度～R6事業年度)
都道府県名	青森県
市町村名	
計画策定主体名	
計画策定主体代表者氏名	
計画参画者数	
住所(主たる事務所)	
電話番号(主たる事務所)	
メールアドレス	

変更箇所がある場合は変更箇所を2段書きにしてください。

<記入例>

(100) ←上段: 変更前 (R4 計画)

120 ←下段: 変更後 (R5 計画)

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現在①	目標②		
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に 換算)	〇〇 KL	〇〇 KL	KL 〇〇	〇〇 %
<p>削減量及び削減率の値は四捨五入前の数値を合計し、その値を四捨五入してください。</p> <p>四捨五入前の達成率が 14.5~14.9%の場合は四捨五入して15%となりますが、15%の達成とは見なされません。</p> <p>第2期目以降の方で、第1期現在値と比較して計30%削減を達成していない場合は、現在値を据え置いたうえで、単期で15%、第1期現在値と比較して計30%削減を目標とする必要があります。</p>				
10a 当たり	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(1) 10a 当たりの燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

生産量 (品目名:)	年間(加温期間)生		③=①-②	④=③/①×100
	現在①	目標②		
	〇〇 t	〇〇 t		
1t 当たりの 燃料使用量	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %
合計(A 重油換算)	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

第2期目以降の方で、計30%削減を達成していない場合、第1期を合わせて、計30%となるように目標を設定してください。

計30%削減を達成した場合、自身で削減目標を設定してください。

R3 事業年度から新規参画した組織は記載不要です。

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)生産量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標する者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注4) 支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位3品目(又は作付け戸数で全体の7割に達するまでの品目)について、枠を追加して記載する。

(注5) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点第1位を四捨五入する。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

燃料の種類	年間(加温期間) 使用量:現在 ①	年間 抑制量:目標 ②	削減率(%) ③/②×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	KL	%
LPガス	KG	KG	%
LNG	m ³	m ³	%

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量及び抑制量欄は、第2の「(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

第2 目標達成に向けた取組手段

(1) 10a 当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量		省エネ設備導入計画		
			現在	目標	R3(R4) 事業年度	R4(R5) 事業年度	R5(R6) 事業年度
1	〇〇〇	〇〇a	〇〇〇L	〇〇L	(例) 薪ストーブ		
					〇台	〇台	台
					〇〇a	〇〇a	a
(参考)例:〇年前から4段サーモ使用。							
2	〇〇〇	〇〇〇a	〇〇〇L	〇〇〇L			
					〇台	〇台	台
					〇a	〇a	a
(参考)例:〇年前から二重被膜。							
3	〇〇〇	〇〇a	〇〇L	〇〇L			
					〇台	〇台	台
					〇〇a	〇〇a	a
(参考)例:〇〇〇〇〇を導入(〇年前から1台)。							
		a	L	L			
					台	台	台
					a	a	a
(参考)							
合計		〇ha	〇〇〇L	〇〇〇L			
					台	台	台
					ha	ha	ha
10a 当たり			〇〇L	〇〇L	(参考)〇〇〇〇〇。		

(注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。

(注2) 計画参画者個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。

(注3) 燃料使用量(現在、目標)欄は、算定方法を確認できる資料等の根拠資料を添付のうえ産地の合計のみの記載とすることも可能とする。

(注4) 省エネ設備導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる資料

(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量		備導入計画				
			現在	目標					
					現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
							(参考)		
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
							(参考)		
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
							(参考)		
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
							(参考)		
合計		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
							(参考)		

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

- (注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。
- (注2) 計画参画者個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。
- (注3) 燃料使用量(現在、目標)及び生産量(現在、目標)欄は、算定方法を確認できる資料等の根拠資料を添付のうえ産地の合計のみの記載とすることも可能とする。
- (注4) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。
- (注5) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。
- (注6) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】

燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する事業者の取組計画一覧

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

No.	氏名	温室面積	燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
					事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
合計		ha	L	L	(参考)		

- (注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。
- (注2) 変動抑制取組計画については、支援対象者が一体的に取り組む場合は、合計欄にのみ記載。
計画参画者が個別に取り組む場合は、個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。
- (注3) 燃料コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で〇〇KL売り渡せることが可能な量)。
- (注4) 変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するのかが分かるよう記載する。
- (注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。
- (注6) 燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の変動抑制量の算定方法を確認できる資料

別紙様式第5号（第12条関係）【契約の更新の場合】

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書（更新）

令和 年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住所
名称及び代表者の氏名

押印不要

青森県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月16日付け青森県農業再生協議会作成）第12条の規定に基づき、貴協議会作成の積立契約の内容及び下記の積立契約における留意事項を承知・同意の上、積立契約を更

契約管理番号は前事業年度と同じです。

なお、本契約に参加する当組織の構成員は別紙のとおりです。

➤ 契約管理番号

※積立契約完了通知の契約管理番号を記載

更新による積立契約の期間の終期：令和6年6月30日

【積立契約における留意事項】

- ・積立契約の期間は、令和3/4年〇月〇日（平成24事業年度からの契約の場合は平成25年2月1日、平成25事業年度以降からの契約の場合は当該年の5月1日、又は4月1日若しくは6月1日若しくは7月1日）を開始日とし、令和6年6月30日までの期間です（期間の終期が更新されます。）。
- ・補填金は、当該補填金が、政府の予算と青森基金の残額に応じて減額される場合があります。
- ・積立金に利息はつきません。
- ・本協議会は、この申込書を受付け、契約を締結したときには、積立契約締結完了通知（更新）を送付します。

※昨年度の積立契約申込書と同じ日付としてください。
(記入例：令和4年7月1日)

【積立契約の締結等に伴う個人情報の取扱いについて】

本協議会は、積立契約の締結その他施設園芸セーフティネット構築事業の実施に伴って取得した個人情報を施設園芸セーフティネット構築事業の実施に利用するほか、以下の利用、提供等を行うことがあります。

- ・本協議会が取得した個人情報を、農林水産省に提出することがあります。
- ・本協議会は、一般社団法人日本施設園芸協会（全国団体）その他の関係団体に対し施設園芸等燃料価格高騰対策に関する個人情報の提供を行うことがあります。

なお、本申込書を提出された場合は、上記個人情報の取扱いについて同意したものとして取扱います。

施設園芸用燃料購入数量等設定申込書（令和5事業年度）

令和 年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

契約管理番号は前事業年度と同じです。

住所

名称及び代表者の氏名

押印不要

令和5事業年度の施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入数量等の設定を以下のとおり申し込みます。

なお、参加構成員ごとの燃料購入数

対象期間は10月～翌6月の間から月を単位として1か月、又は連続する2か月以上の期間とすることも可能です。

➤ 契約管理番号

※契約済みの場合は、積立契約完了通知の契約管理番号を記載

1. 対象期間 令和5年〇月1日から令和〇年〇月30日（又は28若しくは31日）まで

2. 対象数量（施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入予定数量）

選択肢（積立方式）	油種等	単価	燃料購入予定数量
燃料価格の115%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	12.2 円/リットル	(例) 1,000 リットル
	灯油	13.0 円/リットル	(例) 1,500 リットル
	LPガス	16.0 円/kg	(例) 2,000kg
	LNG	8.60 円/m ³	(例) 2,500 m ³
燃料価格の130%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	24.5 円/リットル	(例) 3,000 リットル
	灯油	25.9 円/リットル	(例) 3,500 リットル
	LPガス	32.1 円/kg	(例) 4,000kg
	LNG	17.1 円/m ³	(例) 4,500 m ³
燃料価格の150%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	40.8 円/リットル	(例) 5,000 リットル
	灯油	43.2 円/リットル	(例) 5,500 リットル
	LPガス	53.5 円/kg	(例) 6,000kg
	LNG	28.5 円/m ³	(例) 6,500 m ³
燃料価格の170%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	57.1 円/リットル	(例) 7,000 リットル
	灯油	60.5 円/リットル	(例) 7,500 リットル
	LPガス	74.8 円/kg	(例) 8,000kg
	LNG	39.9 円/m ³	(例) 8,500 m ³

次ページと同様の数量を記入してください。

3. 燃料補填積立の金額

前ページと同様の数量を記入してください。

選択された単価

A重油	(12.2円)	×数量設定申込書の数量	(例) 1,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 6,100円
灯油	(13.0円)	×数量設定申込書の数量	(例) 1,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 9,700円
A重油	(24.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 3,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 36,700円
灯油	(25.9円)	×数量設定申込書の数量	(例) 3,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 45,300円
A重油	(40.8円)	×数量設定申込書の数量	(例) 5,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 102,000円
灯油	(43.2円)	×数量設定申込書の数量	(例) 5,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 118,800円
A重油	(57.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 7,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 199,800円
灯油	(60.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 7,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 226,800円
LPガス	(16.0円)	×数量設定申込書の数量	(例) 2,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 16,000円
LNG	(8.60円)	×数量設定申込書の数量	(例) 2,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 10,700円
LPガス	(32.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 4,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 64,200円
LNG	(17.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 4,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 38,400円
LPガス	(53.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 6,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 160,500円
LNG	(28.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 6,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 92,600円
LPガス	(74.8円)	×数量設定申込書の数量	(例) 8,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 299,200円
LNG	(39.9円)	×数量設定申込書の数量	(例) 8,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 169,500円
計					(例) 1,596,300円

*積立の金額は、参加構成員ごとに計算結果を切り捨てにより100円単位としたものです。

次ページの合計金額を転記してください。

(事業参加者ごとに100円未満を切り捨てるため。)

【燃料購入数量等設定における留意事

- 燃料油購入数量の設定に関する証拠書類を提出してください。 場合には、燃料購入数量が設定できない場合があります。
- 当協議会から指示があった場合には、指定月の燃料の購入数量を領収書、納品書等の写しを添付して速やかに報告してください。
- 燃料購入数量等が設定されましたらお知らせしますので、燃料補填積立金必要額を納入してください。

(別紙様式第7号に添付)

別紙

分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載してください。

施設園芸用燃料購入数量等設定の内訳（令和5事業年度）

〇〇（支援対象者名を記入）の燃料購入予定数量等設定の内訳は以下のとおりです。

1 参加構成員数 〇名

対象期間を記入してください。

2 参加構成員ごとの内訳

番号	氏名	住所	契約管理番号は前事業年度と同じです。 110% ・130% ・150% ・170%	油種等 ・A重油 ・灯油 ・LPガス ・LNG	対象燃料購入数量（リットル）	燃料補填積立金額※（円）	分割納付	備考
					5事業年度 （5年〇月～〇年〇月分）	5事業年度 （5年〇月～〇年〇月分）		
(例)	〇〇 〇	〇〇町……	150%	灯油	10,000	216,000	×	
事業参加者（農家）全員の詳細を記入してください。								
事業参加者ごとに100円未満を切り捨て、合計を記入してください。				A重油 (12.2円/リットル)	(例) 1,000	(例) 6,100		
				灯油 (13.0円/リットル)	(例) 1,500	(例) 9,700		
				LPガス (16.0円/kg)	(例) 2,000	(例) 16,000		
				LNG (17.1円/m ³)	(例) 2,500	(例) 10,700		
				A重油 (25.9円/リットル)	(例) 3,000	(例) 36,700		
				LPガス (32.1円/kg)	(例) 3,500	(例) 45,300		
				LNG (17.1円/m ³)	(例) 4,000	(例) 64,200		
150%				A重油 (40.8円/リットル)	(例) 4,500	(例) 38,400		
				灯油 (43.2円/リットル)	18 (例) 5,500	(例) 118,800		

<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 事業参加者ごとに100円未満を切り捨て、合計を記入してください。 </div>		LPガス (53.5円/kg)	(例) 6,000	(例) 160,500		
		LNG (60.5円/m ³)	(例) 6,500	(例) 92,600		
		LPガス (74.8円/kg)	(例) 7,000	(例) 199,800		
	170%	LPガス (60.5円/m ³)	(例) 7,500	(例) 226,800		
		LPガス (74.8円/kg)	(例) 8,000	(例) 299,200		
		LNG (39.9円/m ³)	(例) 8,500	(例) 169,500		

(注1) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

(注2) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出する（農家積立分）。切り捨てにより100円単位で記載する。

(注3) 分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載する。

省エネルギー等対策取組計画（令和5事業年度）

事業参加者（農家）全員が作成すること

押印不要

1. 燃料使用量削減等の取組目標（いずれか一つの目標に○印を記載（※1））

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

○

(2) 営体生産量当たり燃料使用量を削減する目標

品目が複数ある場合は、品目ごとに記載してください。

(3) 民間金融機関等、備蓄バンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

経営する全ての加温施設の面積を記入してください。

2. 経営状況及び取組目標値

●経営する温室加温面積（品目：いちご○○a、葉物○○a）

○	a
---	---

※全事業参加者必須

●7月から翌6月の1年間の燃料使用量（算出方法は※2（過去7年中5年の平均燃料使用量を算出）を参照）を記入してください。

2) 昨年度から変更がある場合は、変更箇所を2段書きにしてください。

(1,200) ←上段：変更前（R4計画）を括弧書き
1,000 ←下段：変更後（R5計画）

※

※変更がある場合は算出根拠を添付すること。

(1,200)	ℓ
1,000	ℓ
	kg
	m ³

A重油、灯油は「ℓ」、LPガスは「kg」、LNGは「m³」単位で記載。
ただし、灯油の場合は使用量にA重油への換算係数（0.939）を乗じて算出する。

●上記温室における年間燃料使用量（目標使用量）（※3、※4）

800	ℓ
-----	---

※取組目標1.(1)及び1.(2)に○印を記載した事業参加者のみ記載

該当する項目に記入してください。

●上記温室における年間生産量（現在生産量）（※5）

	t
--	---

※取組目標1.(2)に○印を記載した事業参加者のみ記載

	t
--	---

--

添付資料一覧・留意事項（全員必須）

<現在燃料使用量>

①現在燃料使用量計算書

②証拠書類

<目標燃料使用量>

③目標燃料使用量計算書

④証拠書類（省エネルギー試算表等）

※計算書は、計算方法等を記載し、削減率の策定方法が分かるもの

※取組目標 1. (3)に○印を記載した事業参加者のみ記載。
 ただし、支援対象者が一体的に取り組む場合は、記載不要。

3. 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	(例) H26~H29	○○KL→○○KL (○%)
		(例) (H30~R2) (例) R1~R3	(○○KL→○○KL (○%)) ○○KL→○○KL (○%)
			KG→ KG (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
		~	KL→ KL (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)

第1期の実績を記入（実績状況報告書から転記）してください。

該当の実施年度を記載してください。

未達成であれば丸囲みせず、達成していれば丸囲みしてください。

第2期最終年の実績状況報告書から転記してください。前回第2期2年目の実績を第2期最終年の実績見込みとして記入している場合は実績を上段括弧書きに、下段に最終年の実績を記入してください。

(注1) 1期計画、2期計画における
 (注2) 実績はA重油・灯油は「KL」
 推進計画策定時の燃料現在使

4. 目標達成の取組手段 (○印を記載した目標に対して記載)

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合

該当する項目に記入してください。

○ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

必ず○を記入してください。

燃料使用量		省エネ設備導入計画		
現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
1,000L	800L	台	台	台
Kg	Kg	a	a	a
m ³	m ³	(参考)		

前ページと同じ数値を記載してください。

(注1) 省エネ設備導入計画の欄は、上段に導入設
 (注2) 省エネ設備の定義については、本対策で平 接事業
 業」で定義していた設備（ヒートポンプ、循環扇、被覆資材 等）とする。
 (注3) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート及び省エネ設備導入以外の手段で燃料使用量の削減に取り組む場合は、（参考）欄に具体的な取組手段（例として、低温適応性品種への転換や燃料消費率の高い石油燃料焚き加温機の導入 等）を記載する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

燃料使用量		生産量		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
現在	目標	現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
L	L	t	t	台	台	台
Kg	Kg	(L,kg,m ³ /t)	(L,kg,m ³ /t)	a	a	a
m ³	m ³			(参考)		

(注1) 省エネ設備・生産性向上設備（炭酸ガス発生装置、環境制御盤等）導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注2) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注3) 生産性向上設備の導入以外の手段で生産量の向上に取り組む場合は、(参考)欄に具体的な取組手段(例として、多収性品種への転換や栽培技術の改善等)を記載する

(注4) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画のうち省エネ設備に係る記載については、3.(1)の(注)に準ずるものとする。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
		事業年度	事業年度	事業年度
L	L	(参考)		
Kg	Kg			

必ず「申請(更新)する」に○をしてください。

経営上の理由でやむを得ず加入を取りやめる場合のみ「申請(更新)しない」に○をしても良いです。

※セーフティネットへの加入をやめても、省エネ計画の目標年まで省エネルギーの取組を翌年の実施状況報告をする必要があります。

5. 施設園芸セーフティネット構築事業への加入

● 施設園芸セーフティネット構築事業:○事業年度(該当箇所に○印を記入)

➤ 申請(更新)する

➤ 申請(更新)しない

● 施設園芸セーフティネットの積立方式（いずれかを選択し○印を記入）

<p>希望する積立方式を選択し、○を記入してください。 複数の燃料を選択する場合、積立方式は必ず同じ%にしてください。 前事業年度と積立単価が変わっているのので、ご注意ください。</p>			選択
A重油	150%積立	40.8 円/ℓ	
	170%積立	57.1 円/ℓ	
	115%積立	13.0 円/ℓ	
<p>対象燃料を複数にしたい場合は、記入欄を追加して燃料ごとに記入してください。 加温期間（令和5年10月から令和6年6月の最大9か月間）の購入予定数量を記入してください。年間の購入数量でないことに注意してください。 購入数量の設定は自身の過去の施設園芸用燃料の使用量等を参考にして、実際に購入すると考えられる数量を申し込んでください。 原則、現在燃料使用量以下にしてください、過去の実績を比べて多い購入数量の申込みをする場合は、その理由を説明できるようにしてください。また、いかなる理由があっても、購入数量の上限は現在燃料使用量の120%です。</p>			
LNG	115%積立	8.0 円/m ³	
	130%積立	17.1 円/m ³	
	150%積立		
	170%積立		
<p>対象期間は支援対象者共通（事業参加者（農家）ごとに異なる期間の設定は不可）です。</p>			

● 施設園芸セーフティネット
 ※施設園芸セーフティネットの対象となる。

積立単価×購入数量×1/2を100円単位で切り捨て（四捨五入ではない。）で記入してください。

5 事業年度 (○年 月～○年 月分)	計②
	L Kg m ³
積立予定額（積立単価①×燃料購入予定数量②×1/2）100円単位で切捨て	
	円

● 積立金の分割納付について:必須 (該当箇所に○印を記入必須)

▶ 分割納付する

▶ 分割納付しない

<記入上の注意>

該当箇所に○印を記入してください。

(※1)同一支援対象者に属する事業参加者の取組目標は統一すること。

省エネルギー推進計画(旧名称)を最初に策定してから、3年を経過していない支援対象者及び新規の支援対象者に属する事業参加者は、1.(1)を取組目標とすること。

(※2)過去の加温年度における燃料使用量の7中5平均値(過去7年間の燃料使用量のうち最大使用量1年分と最小使用量1年分を除いた5年の平均燃料使用量)とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な燃料使用量(品目別)が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

なお、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省エネルギー等対策推進計画の現在使用量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が15%以上の場合、省エネルギー推進計画(旧名称)における現在使用量に0.85を乗じた使用量を省エネルギー等対策推進計画における現在使用量とすることができるものとする。

(※3)施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは、全事業参加者が必須で実践し、10%の削減割合を現在使用量に乗じた量を削減見込量として、現在使用量から削減見込量を差し引いた量を目標量として設定することができるものとする。

ただし、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者が、引き続き、10a 当たり燃料使用量の削減を取組目標とした場合は、既に実践済みのため、現在使用量に10%の削減割合を見込むことは出来ないものとする。併せて、同取組目標において、事業参加者の削減率(実績値)が10%未満の場合は、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践を徹底し、省エネルギー等対策推進計画における目標値に未達分を反映させることとする。

なお、いずれの取組目標においても、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは必須の取組とし、施設園芸の省エネルギー化に務めるものとする。

(※4)3. 目標達成の取組手段」における省エネ設備導入計画、省エネ設備・生産性向上設備導入計画、変動抑制取組計画を踏まえて記載し、その算定方法が確認できる書類を添付すること。

(※5)過去の加温年度における生産量の7中5平均値とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な生産量が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

(※6)積立金の分割納付の有無は事業参加者が選択する。納付は2回に分割し、その割合は2分の1以上とし、納付額及び納付期限については、積立契約が成立した際にあらためて支援対象者から通知する(納付額は新規の事業参加者は積立予定額、また、更新する事業参加者は前年度積立金残額から計算した積立必要額となる)。

ただし、今回の令和4事業年度2次公募については、「分割納付しない」を選択すること。

第2 既参画組織（再取組計画が R5～R7）

1 提出資料

（1）支援対象者ごとに作成するもの

- ア 別紙様式第1号 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進計画の承認申請について
- イ 別紙様式第1号別紙1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書
添付資料 組織の会則（規約）、役員名簿（どちらも農協は省略可）
- ウ 別紙様式第1号別紙2 省エネルギー等対策推進計画
添付資料 現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる書類
- エ 別紙様式第5号 施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書
- オ 別紙様式第7号 施設園芸用燃料購入数量設定申込書

（2）農家ごとに作成するもの

- ア 別紙様式第2号 省エネルギー対策取組計画（令和5事業年度）
添付資料 現在の燃料使用量の算定根拠資料
目標の燃料使用量の算定根拠資料
施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート

別紙様式第1号（第6条第1項関係）

番 号
年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住 所
名称及び代表者の氏名

押印不要

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画の承認及び省エネルギー等
対策推進計画の承認申請について

青森県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月16日付け青森県農業再生協議会作成）第6条第1項の規定に基づき、下記により事業実施計画及び省エネルギー等対策推進計画を作成したので、関係書類を添えて承認を申請する。

記

- 1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書：別紙1
- 2 省エネルギー等対策推進計画：別紙2

(別紙1)

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書

策定主体名： 支援対象者名を記入	実施期間	5事業年度	5年7月～6年6月
---------------------	------	-------	-----------

※事業年度は7月～翌6月。

施設園芸セーフティネット構築事業実施計画

対象期間	○月～翌○月	5事業年度	5年7月～6年6月
------	--------	-------	-----------

(セーフティネット申込者の内訳)

対象期間は10月～翌6月の間から月を単位として1か月、又は連続する2か月以上の期間とすることも可能です。						
番号	氏名	燃料別				
1	○○○	A重油	5,000ℓ	102,000	102,000	継続
		灯油	ℓ			
		LPガス	kg			
		LNG	m ³			
2	○○○	A重油	○○○ℓ	○○,○○○	○○,○○○	新規
		灯油	○○○ℓ			
		LPガス	kg			
		LNG	m ³			
合計		A重油	○,○○○ℓ	1,596,300	1,596,300	
		灯油	○,○○○ℓ			
		LPガス	kg			
		LNG	m ³			

(注1) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出(農家積立分)。

燃料補填積立予定額と補助金所要見込額は同額(別紙様式第7号の3. 燃料補填積立の金額の計から転記)となります。

(注4) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

添付資料

- 1 組織の会則(規約)、役員名簿(農業協同組合(連合会)の場合は添付を省略できる)
- 2 事業参加者の一覧(下の様式を参考に作成)

上記の補助金所要見込額と同額となります。

<事業参加者の一覧>

番号	氏名	住所	セーフティネット事業申請(○×)	補助金所要見込額(円)	備考
1	○○○	○○町○○…	○	102,000	
2	○○○	○○町○○…	○	○○,○○○	

※番号は事業参加者の通し番号とし、(セーフティネット申込者の内訳)の番号と連動させること。

該当する場合は添付資料も合わせて提出してください。

省エネルギー等対策推進計画

(品目名:)

全ての品目を記載してください。

計画期間	3年間 (R5事業年度～R7事業年度)
都道府県名	青森県
市町村名	
計画策定主体名	
計画策定主体代表者氏名	
計画参画者数	
住所(主たる事務所)	
電話番号(主たる事務所)	
メールアドレス	

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現在①	目標②		
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に 換算)	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %
<p>削減量及び削減率の値は総括表の<u>四捨五入前</u>の数値を合計し、その値を四捨五入してください。</p> <p>四捨五入前の達成率が 14.5~14.9%の場合は四捨五入して 15%となりますが、15%の達成とは見なされません。</p> <p>第2期目以降の方で、第1期現在値と比較して計 30%削減を達成していない場合は、現在値を据え置いたうえで、単期で 15%、第1期現在値と比較して計 30%削減を目標とする必要があります。</p>				
10a 当たり	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(1) 10a 当たりの燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

生産量 (品目名:)	年間(加温期間)生産量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現在①	目標②		
	〇〇 t	〇〇 t	/	/
1t 当たりの 燃料使用量	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %
				〇〇 %
				〇〇 %
合計(A重油換算)	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

第2期目以降の方で、計 30%削減を達成していない場合、第1期を合わせて、計 30%となるように目標を設定してください。
計 30%削減を達成した場合、自身で削減目標を設定してください。

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)生産量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標する者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注4) 支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位3品目(又は作付け戸数で全体の7割に達するまでの品目)について、枠を追加して記載する。

(注5) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点第1位を四捨五入する。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

燃料の種類	年間(加温期間) 使用量:現在 ①	年間 抑制量:目標 ②	削減率 ③/②×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	KL	%
LPガス	KG	KG	%
LNG	m ³	m ³	%

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量及び抑制量欄は、第2の「(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

第2 目標達成に向けた取組手段

(1) 10a 当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量		省エネ設備導入計画		
			現在	目標	R5 事業年度	R6 事業年度	R7 事業年度
1	〇〇〇	〇〇a	〇〇〇L	〇〇L	(例) 薪ストーブ		
					〇台	〇台	台
					〇〇a	〇〇a	a
(参考)例:〇年前から4段サーモ使用。							
2	〇〇〇	〇〇〇a	〇〇〇L	〇〇〇L			
					〇台	〇台	台
					〇a	〇a	a
(参考)例:〇年前から二重被膜。							
3	〇〇〇	〇〇a	〇〇L	〇〇L			
					〇台	〇台	台
					〇〇a	〇〇a	a
(参考)例:〇〇〇〇〇を導入(〇年前から1台)。							
		a	L	L			
					台	台	台
					a	a	a
(参考)							
合計		〇ha	〇〇〇L	〇〇〇L			
					台	台	台
					ha	ha	ha
10a 当たり			〇〇L	〇〇L	(参考)〇〇〇〇〇。		

(注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。

(注2) 計画参画者個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。

(注3) 燃料使用量(現在、目標)欄は、算定方法を確認できる資料等の根拠資料を添付のうえ産地の合計のみの記載とすることも可能とする。

(注4) 省エネ設備導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる資料

(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量		<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> (1) 10a 当たり燃料使用量を削減する 目標を設定した場合、記入不要です。 </div>			備導入計画		
			現在	目標				事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	t	t	台	台	台	
					(L/t)	(L/t)	a	a	a	
							(参考)			
		a	L	L	t	t	台	台	台	
					(L/t)	(L/t)	a	a	a	
							(参考)			
		a	L	L	t	t	台	台	台	
					(L/t)	(L/t)	a	a	a	
							(参考)			
		a	L	L	t	t	台	台	台	
					(L/t)	(L/t)	a	a	a	
							(参考)			
合計		a	L	L	t	t	台	台	台	
					(L/t)	(L/t)	a	a	a	
							(参考)			

(注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。

(注2) 計画参画者個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。

(注3) 燃料使用量(現在、目標)及び生産量(現在、目標)欄は、算定方法を確認できる資料等の根拠資料を添付のうえ産地の合計のみの記載とすることも可能とする。

(注4) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注5) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注6) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】

燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用する者の取組計画一覧

(1)10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

No.	氏名	温室面積	燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
					事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
合計		ha	L	L	(参考)		

(注1)本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。

(注2)変動抑制取組計画については、支援対象者が一体的に取り組む場合は、合計欄にのみ記載。

計画参画者が個別に取り組む場合は、個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。

(注3)燃料コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で〇〇KL売り渡せることが可能な量)。

(注4)変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するのかが分かるよう記載する。

(注5)申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

(注6)燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の変動抑制量の算定方法を確認できる資料

別紙様式第5号（第12条関係）【契約の更新の場合】

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書（更新）

令和 年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住 所
名称及び代表者の氏名

押印不要

青森県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月16日付け青森県農業再生協議会作成）第12条の規定に基づき、貴協議会作成の積立契約の内容及び下記の積立契約における留意事項を承知・同意の上、積立契約を更

契約管理番号は前事業年度と同じです。

なお、本契約に参加する当組織の構成員は別紙のとおりです。

➤ 契約管理番号

※積立契約完了通知の契約管理番号を記載

更新による積立契約の期間の終期：令和6年6月30日

【積立契約における留意事項】

- ・積立契約の期間は、令和5年7月1日（平成24事業年度からの契約の場合は平成25年2月1日、平成25事業年度以降からの契約の場合は当該年の5月1日、又は4月1日若しくは6月1日若しくは7月1日）を開始日とし、令和6年6月30日までの期間です（期間の終期が更新されます。）。
- ・補填金は、当該補填金交付日における燃料補填積立金残高の2倍を上限として支給されますが、政府の予算と青森県農業再生協議会（以下「本協議会」といいます。）に造成された基金の残額に応じて減額されることがあります。
- ・積立金に利息はつきません。
- ・本協議会は、この申込書を受付け、契約を締結したときには、積立契約締結完了通知（更新）を送付します。

【積立契約の締結等に伴う個人情報の取扱いについて】

本協議会は、積立契約の締結その他施設園芸セーフティネット構築事業の実施に伴って取得した個人情報を施設園芸セーフティネット構築事業の実施に利用するほか、以下の利用、提供等を行うことがあります。

- ・本協議会が取得した個人情報を、農林水産省に提出することがあります。
- ・本協議会は、一般社団法人日本施設園芸協会（全国団体）その他の関係団体に対し施設園芸等燃料価格高騰対策に関する個人情報の提供を行うことがあります。

なお、本申込書を提出された場合は、上記個人情報の取扱いについて同意したものとして取扱います。

施設園芸用燃料購入数量等設定申込書（令和5事業年度）

令和 年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

(農業者組織)

契約管理番号は前事業年度と同じです。

住所

名称及び代表者の氏名

押印不要

令和5事業年度の施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入数量等の設定を以下のとおり申し込みます。

なお、参加構成員ごとの燃料購入数

対象期間は10月～翌6月の間から月を単位として1か月、又は連続する2か月以上の期間とすることも可能です。

➤ 契約管理番号

※契約済みの場合は、積立契約完了通知の契約管理番号を記載

1. 対象期間 令和5年〇月1日から令和〇年〇月30日(又は28若しくは31日)まで

2. 対象数量(施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入予定数量)

選択肢(積立方式)	油種等	単価	燃料購入予定数量
燃料価格の115%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	12.2円/リットル	(例) 1,000リットル
	灯油	13.0円/リットル	(例) 1,500リットル
	LPガス	16.0円/kg	(例) 2,000kg
	LNG	8.60円/m ³	(例) 2,500m ³
燃料価格の130%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	24.5円/リットル	(例) 3,000リットル
	灯油	25.9円/リットル	(例) 3,500リットル
	LPガス	32.1円/kg	(例) 4,000kg
	LNG	17.1円/m ³	(例) 4,500m ³
燃料価格の150%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	40.8円/リットル	(例) 5,000リットル
	灯油	43.2円/リットル	(例) 5,500リットル
	LPガス	53.5円/kg	(例) 6,000kg
	LNG	28.5円/m ³	(例) 6,500m ³
燃料価格の170%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	57.1円/リットル	(例) 7,000リットル
	灯油	60.5円/リットル	(例) 7,500リットル
	LPガス	74.8円/kg	(例) 8,000kg
	LNG	39.9円/m ³	(例) 8,500m ³

次ページと同様の数量を記入してください。

3. 燃料補填積立

前ページと同様の数量を記入してください。

選択された単価

A重油	(12.2円)	×数量設定申込書の数量	(例) 1,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 6,100円
灯油	(13.0円)	×数量設定申込書の数量	(例) 1,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 9,700円
A重油	(24.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 3,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 36,700円
灯油	(25.9円)	×数量設定申込書の数量	(例) 3,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 45,300円
A重油	(40.8円)	×数量設定申込書の数量	(例) 5,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 102,000円
灯油	(43.2円)	×数量設定申込書の数量	(例) 5,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 118,800円
A重油	(57.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 7,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 199,800円
灯油	(60.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 7,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 226,800円
LPガス	(16.0円)	×数量設定申込書の数量	(例) 2,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 16,000円
LNG	(8.60円)	×数量設定申込書の数量	(例) 2,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 10,700円
LPガス	(32.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 4,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 64,200円
LNG	(17.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 4,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 38,400円
LPガス	(53.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 6,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 160,500円
LNG	(28.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 6,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 92,600円
LPガス	(74.8円)	×数量設定申込書の数量	(例) 8,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 299,200円
LNG	(39.9円)	×数量設定申込書の数量	(例) 8,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 169,500円
計					(例) 1,596,300円

* 積立の金額は、参加構成員ごとに計算結果を切り捨てにより 100 円単位としたものです。

次ページの合計金額を転記してください。

(事業参加者ごとに 100 円未満を切り捨てるため。)

【燃料購入数量等設定における留意事

- ・燃料油購入数量の設定に関する証拠書類を提出してください。提出書類がない場合は、燃料購入数量が設定できない場合があります。
- ・当協議会から指示があった場合には、指定月の燃料の購入数量を領収書、納品書等の写しを添付して速やかに報告してください。
- ・燃料購入数量等が設定されましたらお知らせしますので、燃料補填積立金必要額を納入してください。

(別紙様式第7号に添付)

別紙

分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載してください。

施設園芸用燃料購入数量等設定の内訳（令和5事業年度）

〇〇（支援対象者名を記入）の燃料購入予定数量等設定の内訳は以下のとおりです。

1 参加構成員数 〇名

対象期間を記入してください。

2 参加構成員ごとの内訳

番号	氏名	住所	契約管理番号は前事業年度と同じです。 ・110% ・130% ・150% ・170%	油種等 ・A重油 ・灯油 ・LPガス ・LNG	対象燃料購入数量（リットル）	燃料補填積立金額※（円）	分割納付	備考
					5事業年度 (5年〇月～〇年〇月分)	5事業年度 (5年〇月～〇年〇月分)		
(例)	〇〇 〇	〇〇町……	〇〇〇%	灯油	10,000	216,000	×	
事業参加者（農家）全員の詳細を記入してください。								
			115%	A重油 (12.2円/ℓ)	(例) 1,000	(例) 6,100		
				灯油 (13.0円/ℓ)	(例) 1,500	(例) 9,700		
				LPガス (16.0円/kg)	(例) 2,000	(例) 16,000		
			130%	灯油 (24.5円/ℓ)	(例) 2,500	(例) 10,700		
				LPガス (32.1円/kg)	(例) 3,000	(例) 36,700		
				LNG (17.1円/m ³)	(例) 3,500	(例) 45,300		
			150%	A重油 (40.8円/ℓ)	(例) 4,000	(例) 64,200		
				灯油 (43.2円/ℓ)	(例) 4,500	(例) 38,400		
合計				A重油 (40.8円/ℓ)	(例) 5,000	(例) 102,000		
				灯油 (43.2円/ℓ)	40 (例) 5,500	(例) 118,800		

事業参加者ごとに100円未満を切り捨て、合計を記入してください。

		LPガス (53.5円/kg)	(例) 6,000	(例) 160,500		
		LNG (28.5円/m ³)	(例) 6,500	(例) 92,600		
		LPガス (60.5円/リットル)	(例) 7,000	(例) 199,800		
		LPG (74.8円/kg)	(例) 7,500	(例) 226,800		
	170%	LPガス (39.9円/m ³)	(例) 8,000	(例) 299,200		
		LNG (39.9円/m ³)	(例) 8,500	(例) 169,500		

事業参加者ごとに100円未満を切り捨て、合計を記入してください。

(注1) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

(注2) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出する(農家積立分)。切り捨てにより100円単位で記載する。

(注3) 分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載する。

省エネルギー等対策取組計画（令和5事業年度）

事業参加者（農家）全員が作成すること

住所： _____ 氏名 _____

押印不要

1. 燃料使用量削減等の取組目標（いずれか一つの目標に○印を記載（※1））

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>

(2) 単位生産量当たりの燃料使用量を削減する目標

品目が複数ある場合は、品目ごとに記載してください。

(3) 長向の並列向向、備蓄ファン等を活用して燃料消費量の削減を抑制する目標

経営する全ての加温施設の面積を記入してください。

2. 経営状況及び取組目標値

●経営する温室加温面積（品目：いちご○○a、葉物○○a）

※全事業参加者必須

<input checked="" type="checkbox"/>	a
-------------------------------------	---

●上記温室における年間燃料使用量（現在使用量）（※2）

7月から翌6月の1年間の燃料使用量（算出方法は※2（過去7年中5年の平均燃料使用量を算出）を参照）を記入してください。

1,000	ℓ
	ℓ
	kg
	m ³

※全事業参加者必須。燃料使用量は温室の加温に用いている燃料を種類別にすべて記載。

A重油、灯油は「ℓ」、LPガスは「kg」、LNGは「m³」単位で記載。

ただし、灯油の場合は使用量にA重油への換算係数（0.939）を乗じて算出する。

●上記温室における年間燃料使用量（目標使用量）（※3、※4）

※取組目標1.(1)及び1.(2)に○印を記載した事業参加者のみ記載

800	ℓ
-----	---

該当する項目に記入してください。

●上記温室における年間生産量（現在生産量）（※5）

※取組目標1.(2)に○印を記載した事業参加者のみ記載

	t
--	---

	t
--	---

	t
--	---

添付資料一覧・留意事項（全員必須）

<現在燃料使用量>

①現在燃料使用量計算書

②証拠書類

<目標燃料使用量>

③目標燃料使用量計算書

④証拠書類（省エネルギー試算表等）

※計算書は、計算方法等を記載し、削減率の策定方法が分かるもの

※取組目標 1. (3)に○印を記載した事業参加者のみ記載。
 ただし、支援対象者が一体的に取り組む場合は、記載不要。

3. 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	(例) H29～R1	○○KL→○○KL (○%)
		(例) R2～R4	○○○KL→○○KL (○%)
			KG→ KG (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
		～	KL→ KL (○%)
			KG→ KG (○%)

第1期の実績を記入（実績状況報告書から転記）してください。

該当の実施年度を記載してください。

未達成であれば丸囲みせず、達成していれば丸囲みしてください。

第2期最終年の実績状況報告書から転記してください。

(注1) 1期計画、2期計画における目標削減率15%を達成した場合
 (注2) 実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

4. 目標達成の取組手段 (○印を記載した目標に対して記載)

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標は 該当する項目に記入してください。

○ 施設 必ず○を記入してください。チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		省エネ設備導入計画		
現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
1,000L	800L			
Kg	Kg	台	台	台
m ³	m ³	a	a	a
		(参考)		

(注1) 省エネ設備導入計画の欄は、上段に導入設
 (注2) 省エネ設備の定義については、本対策で「施設」で定義していた設備（ヒートポンプ、循環扇、被覆資材等）とする。
 (注3) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート及び省エネ設備導入以外の手段で燃料使用量の削減に取り組む場合は、(参考)欄に具体的な取組手段（例として、低温適応性品種への転換や燃料消費率の高い石油燃料焚き加温機の導入等）を記載する。

前ページと同じ数値を記載してください。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

燃料使用量		生産量		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
現在	目標	現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
L	L	t	t	台	台	台
Kg	Kg	(L,kg,m ³ /t)	(L,kg,m ³ /t)	a	a	a
m ³	m ³			(参考)		

(注1) 省エネ設備・生産性向上設備（炭酸ガス発生装置、環境制御盤等）導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注2) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注3) 生産性向上設備の導入以外の手段で生産量の向上に取り組む場合は、(参考)欄に具体的な取組手段(例として、多収性品種への転換や栽培技術の改善等)を記載する

(注4) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画のうち省エネ設備に係る記載については、3.(1)の(注)に準ずるものとする。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標を設定した場合、記入不要です。

燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
		事業年度	事業年度	事業年度
L	L	(参考)		
Kg	Kg			
m ³	m ³			

(注1) 支援対象者が一体的に取り組む場合(例えば、支援対象者としてA重油備蓄タンクを整備している場合等)は、燃料コストの変動抑制量(目標)及び変動抑制取組計画の記載は不要とする。

(注2) 変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料コストの変動を抑制するの

必ず「申請(更新)する」に○をしてください。

5. 施設園芸セーフティネット構築事業への加入

● 施設園芸セーフティネット構築事業:○事業年度(該当箇所に○印を記入)

➤ 申請(更新)する

➤ 申請(更新)しない

● 施設園芸セーフティネットの積立方式（いずれかを選択し○印を記入）

<p>希望する積立方式を選択し、○を記入してください。 複数の燃料を選択する場合、積立方式は必ず同じ%にしてください。 前事業年度と積立単価が変わっているのので、ご注意ください。</p>			選択
A重油	150%積立	40.8円/ℓ	
	170%積立	57.1円/ℓ	
	115%積立	13.0円/ℓ	
<p>対象燃料を複数にしたい場合は、記入欄を追加して燃料ごとに記入してください。 加温期間（令和5年10月から令和6年6月の最大9か月間）の購入予定数量を記入してください。年間の購入数量でないことに注意してください。 購入数量の設定は自身の過去の施設園芸用燃料の使用量等を参考にして、実際に購入すると考えられる数量を申し込んでください。 原則、現在燃料使用量以下にしてください、過去の実績を比べて多い購入数量の申込みをする場合は、その理由を説明できるようにしてください。また、いかなる理由があっても、購入数量の上限は現在燃料使用量の120%です。</p>			
LNG	115%積立	8.0円/m ³	
	130%積立	17.1円/m ³	
	150%積立		
	170%積立		
<p>対象期間は支援対象者共通（事業参加者（農家）ごとに異なる期間の設定は不可）です。</p>			

● 施設園芸セーフティネット
 ※施設園芸セーフティネットの対象となる。

積立単価×購入数量×1/2を100円単位で切り捨て（四捨五入ではない。）で記入してください。

5 事業年度 (○年 月～○年 月分)	計②
	L Kg m ³
積立予定額（積立単価①×燃料購入予定数量②×1/2）100円単位で切捨て	
	円

● 積立金の分割納付について:必須 (該当箇所に○印を記入必須)

▶ 分割納付する ▶ 分割納付しない

<記入上の注意>

該当箇所に○印を記入してください。

(※1)同一支援対象者に属する事業参加者の取組目標は統一すること。

省エネルギー推進計画(旧名称)を最初に策定してから、3年を経過していない支援対象者及び新規の支援対象者に属する事業参加者は、1.(1)を取組目標とすること。

(※2)過去の加温年度における燃料使用量の7中5平均値(過去7年間の燃料使用量のうち最大使用量1年分と最小使用量1年分を除いた5年の平均燃料使用量)とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な燃料使用量(品目別)が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

なお、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省エネルギー等対策推進計画の現在使用量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が15%以上の場合、省エネルギー推進計画(旧名称)における現在使用量に0.85を乗じた使用量を省エネルギー等対策推進計画における現在使用量とすることができるものとする。

(※3)施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは、全事業参加者が必須で実践し、10%の削減割合を現在使用量に乗じた量を削減見込量として、現在使用量から削減見込量を差し引いた量を目標量として設定することができるものとする。

ただし、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者が、引き続き、10a 当たり燃料使用量の削減を取組目標とした場合は、既に実践済みのため、現在使用量に10%の削減割合を見込むことは出来ないものとする。併せて、同取組目標において、事業参加者の削減率(実績値)が10%未満の場合は、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践を徹底し、省エネルギー等対策推進計画における目標値に未達分を反映させることとする。

なお、いずれの取組目標においても、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは必須の取組とし、施設園芸の省エネルギー化に務めるものとする。

(※4)3. 目標達成の取組手段」における省エネ設備導入計画、省エネ設備・生産性向上設備導入計画、変動抑制取組計画を踏まえて記載し、その算定方法が確認できる書類を添付すること。

(※5)過去の加温年度における生産量の7中5平均値とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な生産量が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

(※6)積立金の分割納付の有無は事業参加者が選択する。納付は2回に分割し、その割合は2分の1以上とし、納付額及び納付期限については、積立契約が成立した際にあらためて支援対象者から通知する(納付額は新規の事業参加者は積立予定額、また、更新する事業参加者は前年度積立金残額から計算した積立必要額となる)。

ただし、今回の令和4事業年度2次公募については、「分割納付しない」を選択すること。

施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート（改定3版）

燃油暖房機	設備設置時のチェックポイント		チェック欄		マニュアル
			自己	関係者	掲載頁
	★ 燃焼用新鮮空気の取り入れ口を設けましたか				1頁
加温開始前のチェックポイント		チェック欄		マニュアル	
		自己	関係者	掲載頁	
★ 缶体を清掃しましたか				2頁	
★ バーナーノズル周辺、ディフューザー等を清掃しましたか				2頁	
★ バーナーノズルを点検して定期的に交換していますか				2頁	
★ ノズルヒーターに不具合はありませんか				3頁	
★ エアーシャッターで適正な空気量となるよう調整していますか				4頁	
★ 長期間保存したA重油を使用していますか				4頁	
★ 温湯暖房の場合、缶水の入れ替え、腐食抑制剤の投入を行いましたか				5頁	

温度センサー	加温開始前～期間中のチェックポイント		チェック欄		マニュアル
			自己	関係者	掲載頁
	★ 生長点付近など適切な高さに設置していますか				20頁
★ 暖房機や送風ダクトの吹き出し口付近に設置していませんか				20頁	
★ 温度センサーは正常に作動していますか				20頁	
★ ハイブリッド運転の場合の温度センサーの設置方法は適切ですか				21頁	

温度管理技術	設備設置時のチェックポイント		チェック欄		マニュアル
			自己	関係者	掲載頁
	送風ダクトの設置方法（本数、太さなど）は適切ですか				34頁
循環扇の設置方法（配置間隔、作物影響など）は適切ですか				35頁	
加温期間中のチェックポイント		チェック欄		マニュアル	
		自己	関係者	掲載頁	
★ 温度設定にあたり栽培作物の適温を確認しましたか				31、32頁	
★ 天敵資材や花粉交配用昆虫の活動適温を確認しましたか				33頁	
★ 温室内の温度ムラの有無や温度差を適切な方法で確認しましたか				34頁	
★ 送風ダクトや循環扇を有効に活用して温度ムラを改善しましたか				34、35頁	

外張被覆	加温開始前～期間中のチェックポイント		マニュアル
			掲載頁
	★ エアフィルターの清掃（ヒートポンプ）、燃焼灰の清掃（木質バイオマス）をしましたか		11頁、15頁
内張カーテン	★ 温室内外に採光を妨げるような障害物はありませんか		19頁
	★ 被覆資材が汚れていないか確認しましたか		19頁
	★ 温室の外張被覆の破れや隙間を点検しましたか		22頁
★ 天窓や出入口部の破損や隙間を点検しましたか		22頁	
★ 被覆資材留具の緩みを点検しましたか		22頁	
★ 換気扇シャッターや使用しない出入口の目張り、側面巻き上げフィルムの固定をしましたか		22頁	
内張カーテン	★ 内張（カーテン、固定張り）を設置していますか		23頁
	★ 内張カーテンを多層化していますか（可能であれば温室全面）		27頁
	★ 内張カーテンに破れや隙間がないか点検しましたか		23頁
	★ 内張カーテン裾部の隙間（膨らみ）を点検しましたか		24頁
	★ 温室出入口付近や表面は隙間のないように保温対策を行いましたか		24頁
	★ 多層カーテンでは被覆資材同士の間隔（資材同士が張り付かない）は適切ですか		27頁
	★ 多層カーテンでは肩部などの隙間対策を行いましたか		24頁
	★ 開閉は日長（日の出・日の入り時刻）に応じて調節していますか		25頁
	★ 自動開閉の場合、開閉させて隙間や開閉動作に問題がないことを確認しましたか		25頁
	★ 温室北面を断熱資材で固定張りするなど断熱対策をしましたか		25頁

チェック時期	令和 年 月 ~ 年 月	温室番号	
住所	氏名		
栽培作物	加温面積	燃料使用量	本年 前年

※ 必要に応じて、省エネ設備業者、営農指導機関などの関係者にもチェックしてもらいましょう！

ヒートポンプ	設備設置時のチェックポイント		チェック欄		マニュアル
			自己	関係者	掲載頁
	★ 室外機や室内機周辺の障害物を除きましたか				9頁
★ 室外機は北風等の影響がない場所に設置しましたか				10頁	
★ デフロスト水の排水、積雪への対策をとりましたか				10頁	
★ 室外機と室内機をなるべく近くに設置しましたか				11頁	
★ 電線の太さ・長さ（引込柱～室外機の長さ）は適切にしましたか				11頁	
加温期間中のチェックポイント		チェック欄		マニュアル	
		自己	関係者	掲載頁	
★ ハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より2～3℃高く設定）				8頁	
★ ヒートポンプの周辺に被覆の破れや隙間はありませんか				11頁	
★ 硫黄くん蒸は行っていませんか				12頁	

木質バイオマス暖房機	設備設置時のチェックポイント		チェック欄		マニュアル
			自己	関係者	掲載頁
	★ 貯蔵タンク（サイロ）により温室が過度の日陰になっていませんか				14頁
★ 貯蔵タンク（サイロ）と暖房機の距離は適切ですか（15m以内）				15頁	
★ 暖房機本体の設置場所は適切ですか（温室端側の中央部）				15頁	
加温期間中のチェックポイント		チェック欄		マニュアル	
		自己	関係者	掲載頁	
★ ハイブリッド運転時の温度設定は適切ですか（燃油暖房機より1～2℃高く設定）				14頁	
★ ダウンシュート対策をとっていますか				16頁	
★ 燃料の供給経路（サイロ⇒暖房機本体）に異常はないですか				16頁	

加温開始前～期間中のチェックポイント		マニュアル掲載頁	チェック欄												備考									
			10月		11月		12月		1月		2月		3月			4月		5月		6月				
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
★ エアフィルターの清掃（ヒートポンプ）、燃焼灰の清掃（木質バイオマス）をしましたか		11頁、15頁																						
★ 温室内外に採光を妨げるような障害物はありませんか		19頁																						
★ 被覆資材が汚れていないか確認しましたか		19頁																						
★ 温室の外張被覆の破れや隙間を点検しましたか		22頁																						
★ 天窓や出入口部の破損や隙間を点検しましたか		22頁																						
★ 被覆資材留具の緩みを点検しましたか		22頁																						
★ 換気扇シャッターや使用しない出入口の目張り、側面巻き上げフィルムの固定をしましたか		22頁																						
★ 内張（カーテン、固定張り）を設置していますか		23頁																						
★ 内張カーテンを多層化していますか（可能であれば温室全面）		27頁																						
★ 内張カーテンに破れや隙間がないか点検しましたか		23頁																						
★ 内張カーテン裾部の隙間（膨らみ）を点検しましたか		24頁																						
★ 温室出入口付近や表面は隙間のないように保温対策を行いましたか		24頁																						
★ 多層カーテンでは被覆資材同士の間隔（資材同士が張り付かない）は適切ですか		27頁																						
★ 多層カーテンでは肩部などの隙間対策を行いましたか		24頁																						
★ 開閉は日長（日の出・日の入り時刻）に応じて調節していますか		25頁																						
★ 自動開閉の場合、開閉させて隙間や開閉動作に問題がないことを確認しましたか		25頁																						
★ 温室北面を断熱資材で固定張りするなど断熱対策をしましたか		25頁																						

施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは、事業参加者（農家）全員が必須で実践するものとなっています。このチェックシートは、省エネ暖房の基本的な項目が記載されており、これらの実践により10%程度の燃料削減が期待されます。別紙様式第2号に添付して提出をお願いします。

- ご利用にあたって
- 自身で取り組む省エネ対策を選択して、温室ごとにチェックポイントをチェックしましょう。
 - ★印の付いた項目は省エネ暖房の基本的な項目で、これらの実践により10%程度の燃油削減が期待されます。
 - チェックポイントの詳細は「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル」をご覧ください。

燃料の購入量または使用量 (%)	当年度	前年度	計
温室の夜間設定温度 (°C)	当年度	前年度	

第3 新規参画組織

1 提出資料

(1) 支援対象者ごとに作成するもの

- ア 別紙様式第1号 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進計画の承認申請について
- イ 別紙様式第1号別紙1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書
添付資料 組織の会則(規約)、役員名簿(どちらも農協は省略可)
- ウ 別紙様式第1号別紙2 省エネルギー等対策推進計画
添付資料 現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる書類
- エ 別紙様式第5号 施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書
- オ 別紙様式第7号 施設園芸用燃料購入数量設定申込書

(2) 農家ごとに作成するもの

- ア 別紙様式第2号 省エネルギー対策取組計画(令和5事業年度)
添付資料 現在の燃料使用量の算定根拠資料
(現在燃料使用量計算書、証拠書類)
目標の燃料使用量の算定根拠資料
(目標燃料使用量計算書、証拠書類)
施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート

別紙様式第1号（第6条第1項関係）

番 号
年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

住 所
名称及び代表者の氏名

押印不要

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画及び省エネルギー等対策推進
計画の承認申請について

青森県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月16日付け青森県農業再生協議会作成）第6条第1項の規定に基づき、下記により事業実施計画及び省エネルギー推進計画を作成したので、関係書類を添えて承認を申請する。

記

- 1 施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書：別紙1
- 2 省エネルギー等対策推進計画：別紙2

(別紙1)

施設園芸等燃料価格高騰対策事業実施計画書

策定主体名： 支援対象者名を記入	実施期間	5事業年度	5年7月～6年6月
---------------------	------	-------	-----------

※事業年度は7月～翌6月。

施設園芸セーフティネット構築事業実施計画

対象期間	○月～翌○月	5事業年度	5年7月～6年6月
------	--------	-------	-----------

(セーフティネット申込者の内訳)

番号	氏名	燃料別	対象期間は10月～翌6月の間から月を単位として1か月、又は連続する2か月以上の期間とすることも可能です。			
1	○○○	A重油 灯油 LPガス LNG	5,000ℓ ℓ kg m ³	102,000	102,000	新規
2	○○○	A重油 灯油 LPガス LNG	○○○ℓ ○○○ℓ kg m ³	○○,○○○	○○,○○○	新規
合計		A重油 灯油 LPガス LNG	○,○○○ℓ ○,○○○ℓ kg m ³	1,596,300	1,596,300	

(注1) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出(農家積立分)。

燃料補填積立予定額と補助金所要見込額は同額(別紙様式第7号の3.燃料補填積立の金額の計から転記)となります。

継続」と記入する。及び「施設園芸用

(注4) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

添付資料

- 1 組織の会則(規約)、役員名簿(農業協同組合(連合会)の場合は添付を省略できる)
- 2 事業参加者の一覧(下の様式を参考に作成)

上記の補助金所要見込額と同額となります。

<事業参加者の一覧>

番号	氏名	住所	セーフティネット事業申請(○×)	補助金所要見込額(円)	備考
1	○○○	○○町○○…	○	102,000	
2	○○○	○○町○○…	○	○○,○○○	

※番号は事業参加者の通し番号とし、(セーフティネット申込者の内訳)の番号と連動させること。

該当する場合は添付資料も合わせて提出してください。

省エネルギー等対策推進計画

(品目名:)

全ての品目を記載してください。

計画期間	3年間 (R5事業年度~R7事業年度)
都道府県名	青森県
市町村名	
計画策定主体名	
計画策定主体代表者氏名	
計画参画者数	
住所(主たる事務所)	
電話番号(主たる事務所)	
メールアドレス	

3 燃料使用量削減等の目標

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

燃料の種類	年間(加温期間)使用量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現在①	目標②		
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に 換算)	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %
削減量及び削減率の値は総括表の <u>四捨五入前</u> の数値を合計し、その値を四捨五入してください。 四捨五入前の達成率が 14.5~14.9%の場合は四捨五入して 15%となりますが、15%の達成とは見なされません。				
合計(A重油換算)	KL	KL	KL	%
10a 当たり	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 KL	〇〇 %

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(1) 10a 当たりの燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 燃料使用量の合計欄には、LP ガス(kg)に 1.299 を、LNG(m³)に 1.560 を乗じて、それぞれを A 重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)と A 重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標

生産量 (品目名:)	年間(加温期間)生産量		削減量 ③=①-②	削減率 ④=③/①×100
	現在①	目標②		
	t	t		
1t 当たりの 燃料使用量	KL	KL	KL	%
	KG	KG	KG	%
	m³	m³	m³	%
合計(A重油換算)	KL	KL	KL	%

該当しない

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)生産量の「現在」及び「目標」欄は、第2の「(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標する者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

(注3) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注4) 支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位3品目(又は作付け戸数で全体の7割に達するまでの品目)について、枠を追加して記載する。

(注5) 燃料使用量の合計欄には、LPガス(kg)に1.299を、LNG(m³)に1.560を乗じて、それぞれをA重油使用量(L)に換算したもの(換算方法について、以下同様)とA重油使用量の合計を記載する。なお、それぞれの数値については小数点第1位を四捨五入する。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

燃料の種類	年間(加温期間) 使用量:現在 ①	年間(加温期間) 抑制量:目標 ②	抑制率 ③=②/①×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	KL	%
LPガス	KG	KG	%
LNG	m ³	m ³	%

該当しない

(注1) 省エネルギー等対策推進計画に参画する者が経営する温室面積(計画該当品目)を対象に記載する。

(注2) 年間(加温期間)使用量及び抑制量欄は、第2の「(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧」の合計欄から転記する。なお、それぞれの数値については小数点以下第1位を四捨五入する。

第2 目標達成に向けた取組手段

(1) 10a 当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量		省エネ設備導入計画		
			現在	目標	R5 事業年度	R6 事業年度	R7 事業年度
1	〇〇〇	〇〇a	〇〇〇L	〇〇L	(例) 薪ストーブ		
					〇台	〇台	台
					〇〇a	〇〇a	a
(参考)例:〇年前から4段サーモ使用。							
2	〇〇〇	〇〇〇a	〇〇〇L	〇〇〇L			
					〇台	〇台	台
					〇a	〇a	a
(参考)例:〇年前から二重被膜。							
3	〇〇〇	〇〇a	〇〇L	〇〇L			
					〇台	〇台	台
					〇〇a	〇〇a	a
(参考)例:〇〇〇〇〇を導入(〇年前から1台)。							
		a	L	L			
					台	台	台
					a	a	a
(参考)							
合計		〇ha	〇〇〇L	〇〇〇L			
					台	台	台
					ha	ha	ha
10a 当たり			〇〇L	〇〇L	(参考)〇〇〇〇〇。		

(注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。

(注2) 計画参画者個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。

(注3) 燃料使用量(現在、目標)欄は、算定方法を確認できる資料等の根拠資料を添付のうえ産地の合計のみの記載とすることも可能とする。

(注4) 省エネ設備導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。

(注5) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の燃料使用量の算定方法を確認できる資料

(2) 単位生産量当たり燃料使用量の削減を目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量		生産量		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
			現在	目標	現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a
合計		a	L	L	t (L/t)	t (L/t)	台 a	台 a	台 a

該当しない

- (注1) 本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。
- (注2) 計画参画者個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。
- (注3) 燃料使用量(現在、目標)及び生産量(現在、目標)欄は、算定方法を確認できる資料等の根拠資料を添付のうえ産地の合計のみの記載とすることも可能とする。
- (注4) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。
- (注5) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。
- (注6) 申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

【添付資料】

燃料使用量・生産量の算定方法を確認できる資料

(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制することを目標とする者の取組計画一覧

No.	氏名	温室面積	燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画		
					事業年度	事業年度	事業年度
		a	L	L	(参考)		
		a	L	L	(参考)		
		a			該当しない (参考)		
		a	L	L	(参考)		
合計		ha	L	L	(参考)		

(注1)本取組計画一覧は燃料種類別に作成することとし、LPガスは「kg」、LNGは「m³」に単位を修正する。

(注2)変動抑制取組計画については、支援対象者が一体的に取り組む場合は、合計欄にのみ記載。

計画参画者が個別に取り組む場合は、個々の省エネルギー等対策取組計画から転記する。

(注3)燃料コストの変動抑制量は、燃料コストの変動が産地の経営に及ぼすリスクに対して、民間の金融商品や備蓄タンク等の活用により、産地が燃料コストの変動に対するリスク軽減に備えている燃料量を記載する(例えば、備蓄タンクの活用であれば、燃料価格が高騰した際に、一定価格(高騰した価格よりも安い価格)で〇〇KL売り渡せることが可能な量)。

(注4)変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するのかが分かるよう記載する。

(注5)申請数が多い場合等は、本表を別葉とする。

(注6)燃料価格や燃料使用量の変動を抑制するための取組内容は支援対象者ごとに異なることから、本表については、事業主体と協議の下、適宜変更することも可能とする。

【添付資料】

現在の燃料使用量、目標の変動抑制量の算定方法を確認できる資料

別紙様式第5号（第12条関係）【新規契約の場合】

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約申込書

令和 年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

(農業者組織)

住 所
名称及び代表者の氏名

押印不要

青森県農業再生協議会施設園芸等燃料価格高騰対策業務方法書（平成25年5月16日付け青森県農業再生協議会作成）第12条の規定に基づき、貴協議会作成の積立契約の内容及び下記の積立契約における留意事項を承知・同意の上、積立契約を締結したいので申し込みます。

なお、本契約に参加する当組織の構成員は別紙のとおりです。

【積立契約における留意事項】

- ・積立契約の期間は、令和5年7月1日を開始日とし、令和6年6月30日までの期間です。
- ・補填金は、当該補填金交付日における燃料補填積立金残高の2倍を上限として支給されますが、政府の予算と青森県農業再生協議会（以下「本協議会」といいます。）に造成された基金の残額に応じて減額されることがあります。
- ・積立金に利息はつきません。
- ・本協議会は、この申込書を受付け、契約を締結したときには、積立契約締結完了通知を送付します。

【積立契約の締結等に伴う個人情報の取扱いについて】

本協議会は、積立契約の締結その他施設園芸セーフティネット構築事業の実施に伴って取得した個人情報を施設園芸セーフティネット構築事業の実施に利用するほか、以下の利用、提供等を行うことがあります。

- ・本協議会が取得した個人情報を、農林水産省に提出することがあります。
- ・本協議会は、一般社団法人日本施設園芸協会（全国団体）その他の関係団体に対し施設園芸等燃料価格高騰対策に関する個人情報の提供を行うことがあります。

なお、本申込書を提出された場合は、上記個人情報の取扱いについて同意したものとして取扱います。

(別紙様式第 5 号に添付) (別紙様式第 7 号の「別紙」による代用可能)
別紙

施設園芸用燃料価格差補填金積立契約の参加構成員について

〇〇組織における、施設園芸用燃料価格差補填金積立契約の参加構成員は以下のとおりです。

- 1 フリガナ マルマルソシキ
組織名 〇〇組織

- 2 代表者
代表者の住所 : 〇〇〇……
フリガナ マルマル マルマル
代表者の氏名 : 〇〇 〇〇

- 3 参加構成員数 〇名

4 参加構成員

番号	フリガナ 氏名	住 所
事業参加者(農家)全員分を記載してください。		

(注) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

施設園芸用燃料購入数量等設定申込書（令和5事業年度）

令和 年 月 日

青森県農業再生協議会会長 殿

（農業者組織）

契約管理番号は前事業年度と同じです。

所
名称及び代表者の氏名

押印不要

令和5事業年度の施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入数量等の設定を以下のとおり申し込みます。

なお、参加構成員ごとの燃料購入数

対象期間は10月～翌6月の間から月を単位として1か月、又は連続する2か月以上の期間とすることも可能です。

➤ 契約管理番号

※契約済みの場合は、積立契約完了通知の契約管理番号を記載

1. 対象期間 令和5年〇月1日から令和〇年〇月30日（又は28若しくは31日）まで

2. 対象数量（施設園芸用燃料価格差補填金の対象となる燃料購入予定数量）

選択肢（積立方式）	油種等	単価	燃料購入予定数量
燃料価格の115%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	12.2 円/リットル	(例) 1,000 リットル
	灯油	13.0 円/リットル	(例) 1,500 リットル
	LPガス	16.0 円/kg	(例) 2,000kg
	LNG	8.60 円/m ³	(例) 2,500 m ³
燃料価格の130%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	24.5 円/リットル	(例) 3,000 リットル
	灯油	25.9 円/リットル	(例) 3,500 リットル
	LPガス	32.1 円/kg	(例) 4,000kg
	LNG	17.1 円/m ³	(例) 4,500 m ³
燃料価格の150%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	40.8 円/リットル	(例) 5,000 リットル
	灯油	43.2 円/リットル	(例) 5,500 リットル
	LPガス	53.5 円/kg	(例) 6,000kg
	LNG	28.5 円/m ³	(例) 6,500 m ³
燃料価格の170%相当までの高騰に備え積み立て	A重油	57.1 円/リットル	(例) 7,000 リットル
	灯油	60.5 円/リットル	(例) 7,500 リットル
	LPガス	74.8 円/kg	(例) 8,000kg
	LNG	39.9 円/m ³	(例) 8,500 m ³

次ページと同様の数量を記入してください。

前ページと同様の数量を記入してください。

3. 燃料補填積立の立戻

選択された単価

A重油	(12.2円)	×数量設定申込書の数量	(例) 1,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 6,100円
灯油	(13.0円)	×数量設定申込書の数量	(例) 1,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 9,700円
A重油	(24.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 3,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 36,700円
灯油	(25.9円)	×数量設定申込書の数量	(例) 3,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 45,300円
A重油	(40.8円)	×数量設定申込書の数量	(例) 5,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 102,000円
灯油	(43.2円)	×数量設定申込書の数量	(例) 5,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 118,800円
A重油	(57.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 7,000 ^{リットル}	×1/2=	(例) 199,800円
灯油	(60.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 7,500 ^{リットル}	×1/2=	(例) 226,800円
LPガス	(16.0円)	×数量設定申込書の数量	(例) 2,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 16,000円
LNG	(8.60円)	×数量設定申込書の数量	(例) 2,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 10,700円
LPガス	(32.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 4,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 64,200円
LNG	(17.1円)	×数量設定申込書の数量	(例) 4,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 38,400円
LPガス	(53.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 6,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 160,500円
LNG	(28.5円)	×数量設定申込書の数量	(例) 6,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 92,600円
LPガス	(74.8円)	×数量設定申込書の数量	(例) 8,000 ^{kg}	×1/2=	(例) 299,200円
LNG	(39.9円)	×数量設定申込書の数量	(例) 8,500 ^{m³}	×1/2=	(例) 169,500円
計					(例) 1,596,300円

* 積立の金額は、参加構成員ごとに計算結果を切り捨てにより 100円単位としたものです。

次ページの合計金額を転記してください。

(事業参加者ごとに 100円未満を切り捨てるため。)

【燃料購入数量等設定における留意事】

- 燃料油購入数量の設定に関する証拠書類を提出してください。 場合には、燃料購入数量が設定できない場合があります。
- 当協議会から指示があった場合には、指定月の燃料の購入数量を領収書、納品書等の写しを添付して速やかに報告してください。
- 燃料購入数量等が設定されましたらお知らせしますので、燃料補填積立金必要額を納入してください。

(別紙様式第7号に添付)

別紙

分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載してください。

施設園芸用燃料購入数量等設定の内訳（令和5事業年度）

○○（支援対象者名を記入）の燃料購入予定数量等設定の内訳は以下のとおりです。

1 参加構成員数 ○名

対象期間を記入してください。

2 参加構成員ごとの内訳

番号	氏名	住所	選択肢 ・115% ・130% ・150% ・170%	油種等 ・A重油 ・灯油 ・LPガス ・LNG	対象燃料購入数量（リットル）	燃料補填積立金額※（円）	分割納付	備考
					5事業年度 (5年〇月～〇年〇月分)	5事業年度 (5年〇月～〇年〇月分)		
(例)	○○ ○	○○町……	○○○%	灯油	10,000	216,000	×	

事業参加者（農家）全員の詳細を記入してください。

			115%	A重油 (12.2円/ℓ)	(例) 1,000	(例) 6,100		
				灯油 (13.0円/ℓ)	(例) 1,500	(例) 9,700		
				LPガス (16.0円/kg)	(例) 2,000	(例) 16,000		
				LNG (17.1円/m ³)	(例) 2,500	(例) 10,700		
			130%	灯油 (24.5円/ℓ)	(例) 3,000	(例) 36,700		
				灯油 (25.9円/ℓ)	(例) 3,500	(例) 45,300		
				LPガス (32.1円/kg)	(例) 4,000	(例) 64,200		
				LNG (17.1円/m ³)	(例) 4,500	(例) 38,400		
			150%	A重油 (40.8円/ℓ)	(例) 5,000	(例) 102,000		
				灯油 (43.2円/ℓ)	62 (例) 5,500	(例) 118,800		
合計								

事業参加者ごとに100円未満を切り捨て、合計を記入してください。

		LPガス (53.5円/kg)	(例) 6,000	(例) 160,500		
		LNG (28.5円/m ³)	(例) 6,500	(例) 92,600		
事業参加者ごとに100円未満を切り捨て、合計を記入してください。		△重油 (リットル)	(例) 7,000	(例) 199,800		
		△重油 (リットル)	(例) 7,500	(例) 226,800		
	170%	LPガス (74.8円/kg)	(例) 8,000	(例) 299,200		
		LNG (39.9円/m ³)	(例) 8,500	(例) 169,500		

(注1) 番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

(注2) ※は、「燃料購入予定数量×積立単価×1/2」で算出する(農家積立分)。切り捨てにより100円単位で記載する。

(注3) 分割納付を希望する参加構成員は「○」を、希望しない場合は「×」を記載する。

省エネルギー等対策取組計画（令和5事業年度）

事業参加者（農家）全員が作成すること

住所： _____ 氏名 _____

押印不要

1. 燃料使用量削減等の取組目標（いずれか一つの目標に○印を記載（※1））

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標

○

(2) 単位生産量当たりの燃料使用量を削減する目標

品目が複数ある場合は、品目ごとに記載してください。

(3) 民間金融機関等、備蓄バンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標

経営する全ての加温施設の面積を記入してください。

2. 経営状況及び取組目標値

●経営する温室加温面積（品目：いちご○○a、葉物○○a）

○	a
---	---

※全事業参加者必須

●上記温室における年間燃料使用量（現在使用量）（※2）

1,000	ℓ
	kg
	m ³

7月から翌6月の1年間の燃料使用量を記入してください。
R5から新規で取り組む農家は過去7年中5年の平均燃料使用量を算出（詳細は※2を参照）して記入してください。

類別にすべて記載。算出する。

●上記温室における年間燃料使用量（目標使用量）（※3、※4）

800	ℓ
-----	---

※取組目標 1. (1) 及び 1. (2) に○印を記載した事業参加者のみ記載

該当する項目に記入してください。

●上記温室における年間生産量（現在生産量）（※5）

	t
--	---

添付資料一覧・留意事項（全員必須）

<現在燃料使用量>

①現在燃料使用量計算書

②証拠書類

新規参加の場合は「燃料購入伝票の写し」又は「購入元が証明した書類」に限ります。

<目標燃料使用量>

③目標燃料使用量計算書

④証拠書類（省エネルギー試算表等）

※計算書は、計算方法等を記載し、削減率の策定方法が分かるもの

削減率（※4）

	t
--	---

--	--

3. 過去の燃料使用量削減実績

	削減率	実施事業年度	実績
10a 当たり燃料使用量	15%	(例) H25～H28	○○KL→○○KL (○%)
		～	KL→ KL (○%)
			KG→ KG (○%)
			KG→ KG (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
			m ³ → m ³ (○%)
		～	KL→ KL (○%)
		KG→ KG (○%)	
		m ³ → m ³ (○%)	

過去に事業実施した支援対象者は事業実施最終年の実施状況報告書から転記してください。

該当の実施年度を記載してください。

未達成であれば丸囲みせず、達成していれば丸囲みしてください。

(注1) 1期計画、2期計画における目標削減率 15%を達成した場合に削減率を○で囲む。
 (注2) 実績はA重油・灯油は「KL」、LPガスは「KG」、LNGは「m³」の欄にそれぞれ記載し、省エネルギー等対策推進計画策定時の燃料現在使用量及び目標年の燃料使用実績を記載し、その差の率をカッコ内の削減率として記載。

4. 目標達成の取組手段 (○印を記載した目標に対して記載)

(1) 10a 当たり燃料使用量を削減する目標 該当する項目に記入してください。

○ ← 施設 必ず○を記入してください。 クシートの実践(必須)

燃料使用量		省エネ設備導入計画		
現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
1,000L	800L			
Kg	Kg	台	台	台
m ³	m ³	a	a	a
		(参考)		

(注1) 省エネ設備導入計画の欄は、上段に導入設
 (注2) 省エネ設備の定義については、本対策で平 前ページと同じ数値を記載してください。 支援事業
 で定義していた設備 (ヒートポンプ、循環扇、被覆資材 等) とする。
 (注3) 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート及び省エネ設備導入以外の手段で燃料使用量の削減に取り組む場合は、(参考) 欄に具体的な取組手段 (例として、低温適応性品種への転換や燃料消費率の高い石油燃料焚き加温機の導入 等) を記載する。

(2) 単位生産量当たり燃料使用量を削減する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量		生産量		省エネ設備・生産性向上設備導入計画		
現在	目標	現在	目標	事業年度	事業年度	事業年度
		t				
L	L	(L,kg,m ³ /t)	t	台	台	台
Kg	Kg			a	a	a
m ³	m ³		(L,kg,m ³ /t)	(参考)		

- (注1) 省エネ設備・生産性向上設備(炭酸ガス発生装置、環境制御盤等)導入計画の欄は、上段に導入設備を、中段に導入台数を、下段に導入温室面積を記載する。
- (注2) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。
- (注3) 生産性向上設備の導入以外の手段で生産量の向上に取り組む場合は、(参考)欄に具体的な取組手段(例として、多収性品種への転換や栽培技術の改善等)を記載する
- (注4) 省エネ設備・生産性向上設備導入計画のうち省エネ設備に係る記載については、3.(1)の(注)に準ずるものとする。

(3) 民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃料コストの変動を抑制する目標に取り組む場合

➤ 施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践(必須)

燃料使用量 (現在)	燃料コストの 変動抑制量 (目標)	変動抑制取組計画	
		事業年度	事業年度
L	L		
Kg	Kg	(参考)	
m ³	m ³		

- (注1) 支援対象者が一体的に取り組む場合(例えば、支援対象者としてA重油備蓄タンクを整備している場合等)は、燃料コストの変動抑制量(目標)及び変動抑制取組計画の記載は不要とする。
- (注2) 変動抑制取組計画の(参考)欄には、どの事業年度からどのような取組により、燃料コストの変動を抑制するのか

必ず「申請(更新)する」に○をする。

5. 施設園芸セーフティネット構築事業への加入

● 施設園芸セーフティネット構築事業:○事業年度(該当箇所に○印を記入)

➤ 申請(更新)する ➤ 申請(更新)しない

● 施設園芸セーフティネットの積立方式（いずれかを選択し○印を記入）

<p>希望する積立方式を選択し、○を記入してください。 複数の燃料を選択する場合、積立方式は必ず同じ%にしてください。</p>			選択
A重油	130%積立	24.5 円/ℓ	
	150%積立	40.8 円/ℓ	
	170%積立	57.1 円/ℓ	
	115%積立	13.0 円/ℓ	
<p>対象燃料を複数にしたい場合は、記入欄を追加して燃料ごとに記入してください。 加温期間（令和5年10月から令和6年6月の最大9か月間）の購入予定数量を記入する。年間の購入数量でないことに注意してください。 購入数量の設定は自身の過去の施設園芸用燃料の使用量等を参考にして、実際に購入すると考えられる数量を申し込んでください。 原則、現在燃料使用量以下にしてください、過去の実績を比べて多い購入数量の申込みをする場合は、その理由を説明できるようにしてください。また、いかなる理由があっても、購入数量の上限は現在燃料使用量の120%です。</p>			
LNG	115%積立	8.0 円/m ³	
	130%積立	17.1 円/m ³	
	150%積立		
	170%積立		
<p>対象期間は支援対象者共通（事業参加者（農家）ごとに異なる期間の設定は不可）です。</p>			

● 施設園芸セーフティネット
※施設園芸セーフティネットの対象となる。

積立単価×購入数量×1/2を100円単位で切り捨て（四捨五入ではない。）してください。

5 事業年度 (○年 月～○年 月分)	計②
	L Kg m ³
積立予定額（積立単価①×燃料購入予定数量②×1/2）100円単位で切捨て	
	円

● 積立金の分割納付について:必須 (該当箇所に○印を記入必須)

▶ 分割納付する

▶ 分割納付しない

<記入上の注意>

該当箇所に○印を記入してください。

(※1)同一支援対象者に属する事業参加者の取組目標は統一すること。

省エネルギー推進計画(旧名称)を最初に策定してから、3年を経過していない支援対象者及び新規の支援対象者に属する事業参加者は、1.(1)を取組目標とすること。

(※2)過去の加温年度における燃料使用量の7中5平均値(過去7年間の燃料使用量のうち最大使用量1年分と最小使用量1年分を除いた5年の平均燃料使用量)とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な燃料使用量(品目別)が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

なお、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者は、同計画において達成した削減後の燃料使用量を省エネルギー等対策推進計画の現在使用量とすること。ただし、最終年に達成した燃料使用量の削減率が15%以上の場合、省エネルギー推進計画(旧名称)における現在使用量に0.85を乗じた使用量を省エネルギー等対策推進計画における現在使用量とすることができるものとする。

(※3)施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは、全事業参加者が必須で実践し、10%の削減割合を現在使用量に乗じた量を削減見込量として、現在使用量から削減見込量を差し引いた量を目標量として設定することができるものとする。

ただし、省エネルギー推進計画を最初に策定してから、3年を経過した支援対象者に属する事業参加者が、引き続き、10a 当たり燃料使用量の削減を取組目標とした場合は、既に実践済みのため、現在使用量に10%の削減割合を見込むことは出来ないものとする。併せて、同取組目標において、事業参加者の削減率(実績値)が10%未満の場合は、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートの実践を徹底し、省エネルギー等対策推進計画における目標値に未達分を反映させることとする。

なお、いずれの取組目標においても、施設園芸省エネルギー生産管理チェックシートは必須の取組とし、施設園芸の省エネルギー化に務めるものとする。

(※4)3. 目標達成の取組手段」における省エネ設備導入計画、省エネ設備・生産性向上設備導入計画、変動抑制取組計画を踏まえて記載し、その算定方法が確認できる書類を添付すること。

(※5)過去の加温年度における生産量の7中5平均値とし、困難な場合は、直近7カ年で整理可能な加温年度(3年以上)の平均値とする。また、地域において標準的な生産量が設定されている場合は、これを基準として利用できるものとする。なお、いずれの場合も確認できる書類を添付する。

(※6)積立金の分割納付の有無は事業参加者が選択する。納付は2回に分割し、その割合は2分の1以上とし、納付額及び納付期限については、積立契約が成立した際にあらためて支援対象者から通知する(納付額は新規の事業参加者は積立予定額、また、更新する事業参加者は前年度積立金残額から計算した積立必要額となる)。

ただし、今回の令和4事業年度2次公募については、「分割納付しない」を選択すること。

